

2023 秋の大運動ニュース no.1

2023年9月17日(日)

保育・学童保育・子育て支援の充実を求める
秋の大運動大阪実行委員会

連絡先) 大阪保育運動連絡会 TEL06-6763-4381
実行委員会の構成: 大阪保育運動連絡会・大阪学童保育連絡協議会・
大阪自治労連(保育部会/指導員労組連絡会)・
全国福祉保育労働組合大阪地方本部・社会福祉全国会議大阪支部

秋の大運動
はじまります



◎前半のとりくみ予定

9月17日 スタート集会

10月中旬～11月中

自治体キャラバン

11月16日 国署名一次べ切

11月22日 国会要請行動

11月23日 全国保育大集会

in 日比谷野外音楽堂

☆秋の大運動とは一願いを届ける運動

働く保護者、保育者たちの願いをもとに、「秋の大運動」は毎年、保育・学童保育・子育て支援の充実のため国や大阪府や市町村に制度の改善を求めてきました。

誰もが安心して子どもを生み育てられ、子どもが元気に笑顔で育ってほしい。あたりまえのこととして入園・入所でき、子どもたちによりよい環境で育ってほしい…。でも、希望通りの入所ができない、保育室がギューギュー詰め、先生が大変そうで話しかけづらい、先生不足が理由でいろんな整備が進まない、保育料や経費の負担が重い…など「改善してほしいこと」は今もたくさん潜んでいると思います。秋の大運動では、こうした願いを署名にすることで、多くの人(友だち、会社の人、家族・親せき、地域の人たちなど)に知ってもらい、賛同を広げました。

署名は、国会・府議会・(市町村議会)に届けられます。また議員さんとも懇談し状況を伝えていきます。こうした活動を通じて保育所や学童保育の課題が多くの人たちや議会に伝わり、改善につながってきました。

今年も、子どもたちの豊かな育ちのために、保護者が安心して働き子育てできるように、保育者が元気に働き続けられるように、力をあわせて秋の大運動を広げていきましょう。

☆実行委員長のご挨拶

実行委員長は5つの団体で順番に担っています。今年は大阪自治体労働組合総連合/保育部会の尾崎さんです。

この度、実行委員長になりました大阪自治労連の尾崎です。私は、貝塚市の公立認定こども園で保育教諭をしています。岸田首相が打ち出した「異次元の少子化対策」、吉村知事が提案の「保育士などへのギフトカード支給」など、私たちが求めることとかけ離れた提案ばかり。保育・学童保育関係者の願いは、子どもたちが安心して過ごせる環境と、保護者が安心して預けることのできる環境づくりです。そのためには保育者や指導員が健康で働き続けることのできる環境が必要です。今すぐに求められることは、配置基準の見直しです。一時的なごまかしで何とかできるものではありません。社会を動かし、また私たちの思いを届けることのできるこの署名を、今年も全力で取り組みましょう。

2023 秋の大運動実行委員長・尾崎一美

☆秋の大運動のなかま

保育・学童保育に関係する5つの団体が構成されています。一緒にとりくむ団体を紹介します。

◎大阪保育運動連絡会(だいほれん)

子どもと働く者（保護者・保育者）

の生活と権利を守るために

保育所・幼稚園の内容向上、保育者の処遇改善の運動をすすめることを目的とし活動はニュースの発行、学習、保育政策の改善のため調査研究と合わせ要求実現ため署名や請願行動などを行います。大保連の目的に賛同する団体（保育園・保護者会・労働組合など）と個人（保護者・保育者・研究者など）で構成しています。



◎大阪学童保育連絡協議会(がくほきょう)

学童保育が必要なすべての子どもが入所でき、安心ですこやかに育ちあえることをめざし活動しています。かけがえのない子ども時代、豊かな共同の子育てを大切に、地域の保護者会・連絡協議会・指導員（支援員）会などでつながっています。情報交流しながら、国・府に向けて施策充実を求めています。また学童保育の改善や質の向上にむけた調査・研究、指導員研修などを行っています。



◎大阪自治体労働組合総連合(じちろうれん)

大阪府内の自治体(府・市町村)公共施設などの職員、子育て支援に関わって、保育所・認定子ども園・子育てセンター・障害児通園施設・学童保育などの保育士・保育教諭・非正規職員・指導員・相談員・調理員・用務員・事務職などさまざまな専門職で作る労働組合です。

様々な企業が「保育」という市場でお金儲けを始めています。保育は福祉！有料サービスにしてはいけない！そして、子どもの権利を守り、誰もが安心して暮らせる社会をめざして、公立施設・事業の役割を果たせるよう、法制度の拡充・改善、賃金引き上げ、処遇改善など、地域と繋がり、運動していきます。

◎全国福祉保育労働組合大阪地方本部(ふくほろう)

大阪府内の民間（私立）の保育園や、高齢者介護、障害児者施設・児童養護施設・福祉団体等の福祉職場で働く職員でつづっている労働組合です。

この間、私たちの運動もあり保育士の処遇改善は一定なされましたが、全産業月平均に比べ約8万円低い保育労働者の賃金差は埋まっておらず、異常な物価高騰の下で実質賃金はマイナスに転じています。「子どもの笑顔・発達保障・命を守りたい」「子ども一人ひとりとゆっりかかわりたい」「この仕事をずっと続けたい」など保育労働者の思いを実現するためにも、働き続けられる賃金・処遇、労働基準法が守られる職員配置など、制度拡充をめざしています。

「秋の大運動」が始まりました。子どもたち・大人たちの「思い」「願い」を集め届ける大切なとりくみです。

* 私たちの願いを多くの方から賛同いただく「署名活動」。

* 府内 43 市町村の保育・学童保育担当課と情報共有・意見交換をする「自治体キャラバン」。

など、すすめていきます。

学習会や交流もしながら、

子どもの育つ環境や子育て支援

について、思いをだしあっていきましょう。



◎社会福祉全国会議大阪支部(ぜんこくかいぎ)

権利としての社会福祉を守り発展させることをめざして大阪で発足した「社会福祉施設経営者同友会」は発展的解消をし、今年6月「社会福祉経営全国会議大阪支部」に名称を変更しました。

現在は全国規模で、民主的な経営を守るために、保育・高齢・障害等分野を超えて情報交流や学習、交流等を行いながら運動しています。今後とも、子どもたち、保護者、職員のために、処遇改善、制度拡充をめざしてみなさんと共に運動していきます。